



若い人を

そだてるために

会長 大谷 光照

世界は科学の進歩と機械文明の発達によってめざましい発展をとげていますが、他方において、精神面の作興に思いをいたす余裕なく、かえってその崩壊をもたらしている傾きがあります。

ことに、わが国においては、終戦以来、いまだに国民の志操、道德の根本方針を確立するにいたらず、一般社会はもちろん、家庭のなかにおいても、多くの混乱と対立をひき起している実情であります。

このような状態のなかにあつて、青少年が健全な成長を遂げるといふことは、実に容易なことではありません。申すまでもなく、青少年は次代の国家をになう柱石ともいふべきものであり、青少年のよき育成なくして国家将来の発展は約束されないのであります。それゆえ今日青少年の善導教化について真剣な緊急対策が要望されているのであります。

仏教教団においても、本来の使命から、当然その任にあたるべき責務を痛感し、今までもいささか努力をいたして来たのであります。率直にいつて十分な成果をあげたとは言い得ません。その原因にはいくつかあります。一、二、三をあげるならば、一つには青少年教化に周到な施策が行なわれなかつたこと、二つには各教団がおもいおもいに青少年教化を行なう傾向が強かつたため全仏教教団の努力の成果が結集されなかつたことであります。その青少年教化のための僧侶の教育研修、教育理念の確立、教材の研究整備の不徹底な

どいろいろな問題があり、これらの解決はいずれも困難であります。決して不可能ではありません。

読売新聞社主正力松太郎氏はつとにこの問題に着目し、今回同氏より誠意あふれる激励をうけましたのでわれわれは半年にわたつて、全仏教教団が力を結集できる方法について慎重な検討を重ねた結果、青少年教化運動にのり出すことになり全国青少年教化協議会設立の決意をかためたのであります。この運動は全国の各寺院教会における青少年教化施設としての日曜学校などの設置の促進および助成を主たる事業とし、これがために視聴覚教化センターの設置、指導者研修会の開催、優秀なる青少年教化施設の顕彰、その他茶道等による情操教育の普及など、この目的を達成するために必要な事業を行なわんとするものであります。

われわれは今や重大な局面に立っていることを率直に認めらざるを得ません。すなわち、国家百年のための青少年の教化の徹底をはかり、真の人づくりという仏教本来の使命を今こそ果さねばならぬという時機に際会していることでもあります。われわれはここに渾身の力を振ってこの問題と取り組まなければならないと信じ、この運動の展開に率先努力するものであります。各界各位の御賛同と御協力により、目的が達成されますよう切に念願してやまない次第であります。